

ことり新聞

January
2024.1.11
Vol.128

伊藤 看護部長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



昨年末からの感染症対応に、ご協力いただき心から感謝しております。
なかなか先の見えない状況に押しつぶされそう中、皆が力を合わせて頑張る姿に看護師の使命を感じる日々です。困っている人にそっと寄り添うこと、今何が必要で何ができるのかを考えて行動すること、チームの一員としての責任感、千里中央病院のチーム力を再確認できました。

この辛い思い、感情はきっと私たちの成長の源になると信じています。
今こそこのチーム力を発揮し、皆で乗り越えていきましょう。



「明けない夜はない！」

皆様に2024年も皆様にとって明るく希望に溢れる1年となりますようにお祈り申し上げます。 本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



今年の私の格言

暗いと不平を言うよりも、あなたが進んで明かりをつけなさい/マザーテレサ

1 月 研 修

- 10日 法人主催新人介護職 「リスクマネジメント」
- 27日 法人卒後2年目 「ケーススタディ発表会」

1 月 行 事

- 9~26日 大阪青山大学実習
- 29~2/8 大阪医療看護専門学校実習
- ~2/16 大阪青山大学実習

昨年のクイズの答えは 「希望」 でした。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」

井上靖さんの言葉です。

15部署より回答を頂き、頂いた全部署正解でした。また、感想や励ましのコメントもいただきました。ありがとうございます。

今年も希望を語れる年にします。本年もよろしくお願ひします。



関西臨床倫理研究会

看護次長



12月23日に関西臨床倫理研究会主催のセミナーが開催され、当院からは役員3名と受講者15名が参加しました。

会田薫子先生・石垣靖子先生・清水哲郎先生に講師として登壇していただきました。講師それぞれの立場やご経験から医療の現場の倫理について、実践的なお話をしていただきました。患者さんやご家族、そして自分を大切にして医療現場で仕事をしていくことを改めて考えることができました。



千里中央病院では臨床倫理検討会で月に1回、事例の倫理的課題を多職種で考える場を設けています。忙しい毎日ですが、ふと立ち止まって「その人らしく」「自分らしく」を考える時間は大切に、これからもそのような機会を作ることができたらと思います。

東西6階合同クリスマス会

外来 看護師長

コロナが流行し始めてから約3年ぶりのイベントを開催しました。2023年のクリスマスはこの空間にいる人達でしか作り出せません。患者さんにとっては最後のクリスマスの方もおられます。会の為におしゃれをして参加された方や「コーラスの声が素敵！」という喜びの声、写真付きクリスマスカードは思い出に残るとベッドサイドに飾られる方が多くみられました。また、患者さん自身が楽しんでる姿をみて、ご家族から「一緒に楽しい時間を過ごせました。」と喜びの声も聞かれています。



また、ケアする人もケアを通じてこの瞬間を共有していることと思います。患者さんご家族の反応が糧となり、ボランティアさんとコーディネーターの存在に支えられました。今後、成功体験を生かして院内へ拡大し、患者さんご家族の人生の1ページにギフト（感動）を届けられよう今後も取り組んでいきたいものです。



11月 新規褥瘡発生 5人

(12月褥瘡予防対策委員会より)